



校舎前の広場

Welcome Week (2020/02/19-2020/02/21)

イタリアに移動して2日後に2日間の留学生の歓迎イベントがありました。デザイン学科の学生だけでなく建築やエンジニアの学生も合同で行われました。前半で通っていたドイツのKISDはデザインの留学生が40人程度と小規模でしたがPOLIMIはとても規模が大きく到着する頃には長蛇の列ができていました。その時に後ろに並んでいた建築学部の学生と仲良くなりましたが、同じコースの学生を見つけることはできませんでした。授業が始まれば知り合いもできてくるだろうと悠長に構えていたのですがこれがのちに後悔の元となります。ウェルカムウィークでは学内wifiの使い方や学生証のアクティベート方法、住民登録の申し込み方など学生生活へのガイダンスと工房やフォトスタジオなどデザインコースで使用する施設の紹介が主な内容でした。

オンライン授業について

講義などの授業から徐々にオンライン授業がスタートしました。3月9日から私の所属するInterior and Spatial Design コースの授業が始まりました。オンライン授業の良いところは、後から見返すことができたり、チャット形式により質問や発言のハードルが下がる点です。授業はTeamsを用いて行われており、学生は主にチャットで発言するため、先生以外の顔を見ることができません。私の受講する授業ではグループワークがありグループ分けを自分たちでしなければなりません。学生の多くは前の学期に既に同じ授業を受けていたりと面識があるようで、まだグループを組むだけでさえも困難を感じました。これからグループワークがはじまるので不安ではありますがコミュニケーションを積極的にとっていききたいと思います。



オンライン授業の様子

ミラノと新型コロナウイルス

ミラノでの約一ヶ月の流れを以下に示します。

- 2.17 イタリア到着
- 2.19 ウェルカムウィーク
- 2.23 授業1週間延期の連絡（授業開始予定日）
- 2.27 ミラノ全校休校、美術館封鎖、集会禁止
ロンバルディア州危険情報レベル1
- 3.01 ロンバルディア州危険情報レベル2に引き上げ
- 3.02 オンライン授業第一弾開始（指定のコース）
- 3.07 ロンバルディア州危険情報レベル3に引き上げ
- 3.08 ミラノ封鎖、移動規制 引越し
- 3.09 イタリア全土封鎖 オンライン授業開始（スタジオとラボを除く全てのコース）
- 3.10 帰国要請
- 3.14 イタリア出国
- 3.15 日本帰国
- 3.16 全ての授業がオンラインで開講

移動してすぐにイタリア北部で COVID-19 の感染者が増え始め、23日に予定されていた授業開始は一週間延期されることとなりました。この頃は街でマスクをしているのは一部の人のみでした。

しかし状況は日々変化し、3月8日には個人の移動が大幅に制御されました。移動が許可されるのは仕事上の必要、必要に迫られた状況、健康上の理由、自宅や居住地への帰還のいずれかに該当する場合のみで、10日から自己申告フォーマットの所持が義務付けられました。この頃になるとマスクをしている人がほとんどとなり、スーパーでは入り口にビニール手袋が用意されており着用している買い物客が多数でした。

9日にフラットに引越したのですが、アジア人で大荷物を持っていたため旅行客に見えたのかバス停で一人のおじいさんに怒鳴られました。イタリア語だったため何を言っているのかはわからなかったけれど身振りなどから新型コロナウイルスについてであることはわかりました。危害を加えてくるんじゃないかという恐怖と相手が何を訴えているのかがわからないもどかしさがありました。

新しい滞在先は女性4人のシェアフラットで、スペインからの留学生とインドネシアからの留学生ともう一人は自国に帰国中でした。フラットメイトはとても優しく面倒見が良い人たちで共用スペースも綺麗で部屋からの景色もよくとても気に入りました。また、これまでアパートの一室を借りていたためキッチンを使うのに気を使っていたようで自由に料理できる嬉しさで材料などを揃え始めていました。しかし状況は深刻化していき、危険情報レベルが3に引き上げられ大学からの要請と状況を見て帰国することになりました。引越しを終えようやく生活環境が整ってきたところにすぐ帰国と、とても慌ただしいイタリア滞在となってしまいました。滅多にない経験をしたと思いをもち直し日本でも励んでまいりたいと思います。



唯一訪れることのできたコモ湖